JF大分
水産おおいた
2025年09月
181号
発行元
大分県漁協
http://www.jf-oita.or.jp/

山上誠二氏（大分魚市株式会社代表取締役社長）「黄綬褒章」受章記念祝賀会

この春の叙勲で、県内外の水産物流通、消費拡大などに寄与した功績により、大分魚市㈱の山上誠二氏（７８歳）が黄綬褒章を受章され、７月２９日、大分市内のホテルにおいて祝賀会が開催された。

会には市場関係者や漁業者など約１５０人が出席し、発起人を代表して中根組合長が山上氏の経歴、功績等を紹介したのち、来賓の佐藤樹一郎大分県知事（代読：大塚猛県農林水産部審議監）と足立信也大分市長が祝辞を述べた。

山上氏は、大分市の出身で、昭和４７年に㈱大分魚市場に就職、平成１５年には現在の大分魚市株式会社の代表取締役に就任。平成２８年には大分県魚市場連合会の会長となり、県産水産物の消費拡大を目指し「おおいた県産魚の日」運営委員会の会長として県や漁協関係者等と連携し、毎月第４金曜日を「おおいた県産魚の日」に制定、鮮魚店でのポスター掲示や試食会等のイベント開催など、県産魚のＰＲに積極的に取り組んだ。

また、出荷が始まる秋には「かぼすブリ」の旬入り宣言式を開催するなど消費の拡大にも尽力された。さらに、全国魚卸売市場連合会の監事も務めるなど大分県だけでなく、全国の水産業界発展にも貢献した。

中根組合長（発起人）あいさつ

トラフグの資源管理方針に関する検討会

７月２９日、福岡市において「第１回資源管理方針に関する検討会（トラフグ日本海・東シナ海・瀬戸内海系群）」が開催され、姫島及び保戸島支店関係者、本店職員が参加した。

会議では、まず、水産研究・教育機構から報告があり、漁獲量、放流尾数、資源量は減少傾向にあり、放流魚の混入率は２０２３では４４％、冬季の関門海峡付近の水温が高くなったため、日本海など瀬戸内海に入ってくる親魚が減っている可能性が示唆された。

その後、これまでに出された意見やその対応等について活発な議論がなされ、国事業による種苗放流の必要性や近隣で増加した資源管理の導入など様々な意見が出された。

今後は資源評価のたたき台となるデータ蓄積、漁場ごとのＣＰＵＥなどを検討することになった。

かぼす養殖魚販売促進協議会　総会等開催

８月２日、佐伯支店において「かぼす魚生産者、研究部、行政等の関係者が集まり、生産者会議及び販売促進協議会の総会が開催された。

会議では、かぼすヒラマサ生産者の実績や今年度の計画に加え、水産研究部や行政から試験結果の報告、飼育マニュアルの改定などの説明があった。

その後のかぼす養殖魚販売促進協議会の総会では、昨年度の実績報告、本年度の販促（東京シーフードショー、量販店等でのフェア、福岡の市場での販促等）計画が示され、それぞれ承認された。

農林水産部・農林水産業関係団体人権啓発リーダー研修会

８月２１日、県庁新館７階大会議室において、研修会が開催され、県漁協本店及び支店、水産団体から１５名が参加した。

一丸和子県農林水産企画課長の挨拶の後、部落差別解消推進課の東参・人権尊重推進室長から「大分県の人権尊重の施策について」講演があった。

２００９年の条例の施行以降、５年ごとに策定してきた大分県人権尊重基本方針が、社会情勢の変化や県民意識調査、新長期総合計画を踏まえ、重点課題に、インターネット・ＡＩの人権侵害、犯罪被害者の人権問題を追加し、本年度第４次方針として策定された。

また、大分県人権教育・啓発推進協議会の牧野講師・出会いの中で学んだこと」をテーマに講演した。

就業希望者向けのフェア等（大分・福岡・東京・大阪）

5会場で開催され、本店、支店職員等が参加、対応した。

①農林水産業への就農・就業研修・相談会（インターンシップ）
7/4　大分市
・県漁協（本店、佐賀関）ブースの来場者：17名

②漁業就業支援フェア2025夏
7/5　福岡県
・県漁協（本店）ブースへの来場者：12名

③漁業就業支援フェア2025夏
7/21　東京都
・県漁協（本店）ブースへの来場者：14名

④漁業就業支援フェア2025夏
7/26　大阪府
・県漁協（本店）ブースへの来場者：6名

⑤おんせん県おおいた就農・就業応援フェア
8/2　大分市
・県漁協ブース（本店）への来場者：3名

おんせん県おおいた就農・就業応援フェア

編集後記

立秋を過ぎ、ほんの少しだが朝晩の風を涼しく感じるようになった。お盆前のこれだけ豪雨で熊本や鹿児島などに被害が出た。被災された方々にお見舞い申し上げます。これから台風シーズンがやってくる。気を緩めることなく秋を待ちたい。

さて、先日、自宅近くの店に新米が並んだのだが、値段には目をスーパーでパラパラとめくっていたら、思い切って買ってしまった。あくまでも私の感想だが、やはり炊きたての香りが良い、そしてお米には魚が合うと思った。刺身や塩焼き、煮つけなど脂が乗るとより一層美味しくいただける。今年度も関係機関と連携して、魚食普及のための取り組みを県下各地で実施する予定だ。我々水産関係者が率先して魚を食べましょう。